

仙台育英学園

同窓会々報

一一二五周年に向つて

仙台育英学園同窓会

会長 小坂 信雄



今年もなかなか梅雨が明けない日が続きました。酷暑の夏本番を迎え、厳しい暑さのなか同窓生諸兄弟におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。

皆様方の母校愛に支えられまして、同窓会も順調な運営を続けてまいることができました。ことに深く敬意を表します。

がご就任になられましたことをご知らせ申し上げます。加藤昭先生には、母校仙台育英学園の創立者加藤利吉先生から若くして理事長・校長の重責を引き継がれて以来人生のすべてを学園の経営に努力されてまいりました。戦後の未曾有の学制改革、戦災で焼失した

校舎の復興から教育環境の整備と充実にすべてを傾注され、多賀城の地にヨーロッパ風の瀟洒な校舎を建設されてここに全国先駆けて六年制の秀光中等教育学校を開校され、教育効果の向上、体育活動、文化活動に多大の成果を挙げられていることと、えに先生のご苦労によるものでここに深甚なる感謝の意を表し上げます。

先生には、これからご健康で学園長として同窓会の一層のご指導を心からお願ひ致したいと存じます。新しく理事長にご就任になられた加藤雄彦校長先生には、

このような共通点を持った者が頂点を極めることとなるのではなないでしょうか。文化面に目を転ずると、秀光中等教育学校二年の郷古藤(こうこ すなほ)君です。彼はフランスで開催されたメニエール国際コンクールで認められ、史上最年少で世界の頂点に立ちました。勅使河原真実先生の師事のもと、彼の潜在的能力が見事に開花し、国際的なバイオリンリストとして大舞台で活躍できるとともに、アマミリー8月号(プレジデント)では「奇跡」と写ったと伝えています。

もポピュラーな存在なのでご紹介をいたしました。彼らの今後の活躍が母校仙台育英学園の名を高め、我々学園関係者に誇りと感動をもたらしてくれるはずです。「トップの道」はそれを究めようとするものだけに用意されているとは思いません。むしろ、日常的にもかかわらず、無意識に見過しているだけではないかと感じるときがあります。自分の不注意をさて置いて、人がやっていることに嫉妬心を抱き、その努力が失敗に終わることを期待するより、彼らのこれからを理解し、応援していきたいものです。



校長 加藤 雄彦

秀光中等教育学校 仙台育英学園高等学校

「トップの道」

驚きと歓喜で包まれました。

庫リレーカーニバルでは大阪世界選手権の参加標準A記録(31分40秒)を上回る(31分35秒)の日本ジュニア記録を達成するなど、成長著しい成果を挙げています。

来る八月二十五日午後9時45分スタートの予定の女子一万メートル

このように共通点を

今取り上げた五名の卒業生と在校生は

本会の運営につきまして承知のとおり

発行所 仙台育英学園同窓会 千983-0045 仙台市宮城野区 宮城野二丁目4-1 TEL 022-256-4141 編集 仙台育英学園 発行 同窓会事務局 印刷所 樹トーヨープリントセールス TEL 022-225-8771

学園が創立百周年の節目をこえて新たな時代を多岐におき健康に留意されたいと、同窓会活動にご指導を賜り願ひ申し上げます。

野球場が甲子園に出場することによって、同窓生の中には満ちたり、豊かになるのではないかと、母校の後輩である在校生諸君は、全国的にも類のない充実した素晴らしい教育環境の中で、加藤雄彦理事長・校長先生はじめ熱心な先生方のご指導により、学業においては今年度も東京大学二名、東北大学二名、慶應義塾大学七名、早稲田大学十三名、地元東北学院大学二〇九名の大学合格を果たしました。スポーツ活動においてもインターハイ出場は、選手三六名が出場しており

野球場が甲子園に出場することによって、同窓生の中には満ちたり、豊かになるのではないかと、母校の後輩である在校生諸君は、全国的にも類のない充実した素晴らしい教育環境の中で、加藤雄彦理事長・校長先生はじめ熱心な先生方のご指導により、学業においては今年度も東京大学二名、東北大学二名、慶應義塾大学七名、早稲田大学十三名、地元東北学院大学二〇九名の大学合格を果たしました。スポーツ活動においてもインターハイ出場は、選手三六名が出場しており

平成19年度 宮城県高等学校総合体育大会 成績

Table of sports results for the 19th year Miyagi Prefecture High School General Sports Meeting. Columns include sports (卓球, レスリング, etc.), gender (男子/女子), and names of athletes and schools.

平成19年5月22日

# I-Lion Day

## 飲酒運転皆無の社会になるまで 私たちは、あの日のことを けっして忘れない…

H19年5月22日  
早朝の国道45号線でのあの痛ましい事故から二年。昨年同日に続いて二年目の「I-Lion Day」の行事が、多賀城校舎と宮城野校舎、その他の場所で行われました。

東名高速酒酔いトラック事故で子ども二人を失って、飲酒運転を撲滅するために  
飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める遺族・関係者  
全国連絡協議会  
幹事 井上 保孝  
井上 郁美

※仙台市街で二日間の署名活動。事故で娘二人を失った井上さんご夫妻の講話  
多賀城校舎では、特別進学コース三年生、外国語コース、英進進学コース、秀光中等教育学校後期課程の生徒が、午前10時、グローリーホールに集合。

### 記念講話



Day  
メモリアルとしての記念講話を聞きました。  
壇上には、たれたのは、『飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める遺族・関係者全国連絡協議会』の幹事を務められる井上さんご夫妻、保孝さんと郁美さん。ご夫妻は一九九九年十一月に東名高速道路で三歳と一歳の娘さんを



失った事故を機に、全国各地で署名や講演、講話等を行い、飲酒運転根絶と法改正のための活動を行っています。井上さんご夫妻は、五月十九日と二十日、

き逃げ事犯に厳罰を求める遺族・関係者全国連絡協議会、会員との共同での署名活動にも参加。五月二十二日のこの日も、壇上から「飲酒運転のない社会実現と、ひき逃げ行為の厳罰化」をテーマとした講話を、ご夫妻の実体験をまじえながらされました。

この「東名高速酒酔いトラック事故で子ども二人を失って、飲酒運転を撲滅するために」と題された講演は、宮城野校舎においても二十時十五分から、体育館・鵬翼を会場にして特別進学コース・二年生、フレックスコースの生徒を集めて行われました。

### 署名活動

H19年5月19・20日  
仙台市中心部十力所で飲酒運転根絶とひき逃げ罰則強化を訴える飲酒・ひき逃げ犯に對してより厳罰が下されるよう刑法を含む関連法の改正を要望する署名運動  
「飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める被害者遺族・関係者全国連絡協議会」  
仙台育英学園高等学校生徒会  
五月二十二日に先立つ二日前と三日前の十九・二十日、生徒会役員による飲酒運転根絶のための署名活動が仙台市内中心部で行われました。今回の署名活動には力強い「協力者」が駆けつけてきてくださいました。今年一月末、生徒会役員有志が

東京・上野駅で行われた「飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める遺族・関係者全国連絡協議会」の署名活動にボランティアで参加しました。その縁があつて、今度は協議会の方々が共同で署名活動を行うために仙台へと来てくださったのです。

生徒会役員と、井上保孝・郁美さんご夫妻を中心として全国各地から馳せ参じてくださった協議会の方々による。二番町角のアーケード街ほか約十力所で、おりしも青葉まつりで賑わう街の人たちに「飲酒運転がない社会を」飲酒運転やひき逃げの罰則を強化する法改正に協力を」と訴えました。二日間集った署名の数は、一万三千百十八人分にも及びました。

### 会津研修

H19年5月22日  
会津若松/喜多方安全で安寧な社会実現を学園創立者 加藤利吉先生と交通安全地蔵尊に祈る  
多賀城校舎で井上保孝・郁美さんの講話が始まる二時間半前の七時三十分、多賀城校舎・グローリーホール前から本校・硬式野球部の生徒が会津若松に向けて出発。十時三十分に着し、学園創立者・加藤利吉先生の顕彰碑が建つ飯盛山で加藤雄彦校長先生と合流し、顕彰碑と交通安全地蔵尊を参拝しました。



### 飲酒運転根絶 県民大会に参加

H19年5月22日  
宮城県警本部前駐車場飲酒運転根絶を訴えながら一番町アーケード街をパレード  
午後三時三十分からは、県警本部前県と県警主催の「飲酒運転根絶県民大会」に参加。本校・サッカー部、ラグビー部、チアガール部の部員たちを中心とした仙台育英学園関係者約一〇〇人が、参加者の列に並びました。大会には井上保孝・郁美ご夫妻も出席。また、「飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める遺族・関係者全国連絡協議会」部前での大会終了後、参加者は青葉区一番町四丁目のアーケード街を、飲酒運転の根絶を訴えながらパレードを行いました。



学園創立者

加藤利吉先生物語

《第五回》 世界に羽ばたく人物を育てるために 本格的な学校を作りたいのです!!

学校を作りたいんだ 本物の学校を...

素そのものでした。質素儉約を旨としながら学校作りの夢に賭けたのです。

母と妻の言葉に 外国への夢を断念

先生にも、一時、迷いの時がありました。『外国へ行きたい、世界を見て自ら勉強したい』

明治三十八年(1905年)十月一日、仙台市東四番丁に子屋式の私塾『育英塾』の看板を掲げた加藤利吉先生。先生の教育に賭ける情熱はとどまることを知りません。勉学を志す塾生を集め、彼らの食事の面倒も見て、ときには食べさせた米を荷車で遠くから運びました。その苦勞と張りには周囲もあきれ

るほどでした。

しかし、利吉先生は、その苦勞をいとまげません。先生には、未来に向けての確たるビジョンがあったからです。『そんなにしてまで勉強教えることねえべさ』

「学校を作りたいんだよ」 「学校?」 「うん。本物の学校だ」 「本気かね」 「塾ではどうしても受験のための勉強になりがちだ。もっと広い視野を持って世界に羽ばたく人物を育てるために、本格的な学校を作りたいのだ。それが私の理想なのだ...」(奥中惇夫著・『ほえろ!ライオン先生』より)

利吉先生の生活は質



「あきらめなければいい。教育者として立派に成長するために、外国へ行って勉強したいんだ。世界の現実の空気を吸ってたくさんのこ

とを吸収していきたいんだ」(『ほえろ!ライオン先生』より)

正三年に各種学校令に基づく学校として認可され、東北高等予備校に、大正八年には「財団法人東北高等予備校」として文部大臣の認可を受け、さらに同財団常任理事となった加藤利吉先生が校長として正式認可されることになり

ます。一九二二年、念願の仙台育英中学校が誕生

校の設立に向けて奔走し、大正十一年(一九二二年)四月十七日、仙台育英中学校の第一回入学式が挙行され、入学生五十三名を迎え入れることになりました。育英塾を開いて十八年目にして、近代学校へと脱皮、成長していくことになりました。

局面の中でも、加藤利吉先生の理想の学校づくりへの努力は続きま

す。昭和十四年(一九三九年)、外記丁に当時としては全く斬新な校舎が誕生します。それに伴い、仙台育英中学校の生徒の定員は七五〇名に...

戦時下とあって、建築物資の統制、建築資材費の高騰と工事の進行は困難を極めた。利吉の不撓不屈(ふとうふくつ)の精神と、至誠天に通ず、の信念で乗り切り、さらに同窓会、父兄会、その他各方面の協力によって完成することができたのです。

事務局長からのお願い 昨今より同窓生諸兄弟の家庭へ、「同窓会」の者ですが、名簿作成のため住所、勤務先を教えてください。との電話が、特に若い同窓生宅に数多くあるようです。同窓会事務局としては、名簿作成について一切行動を起こしておりません。全て同窓会の名を騙る者の仕業です。ので、答える必要はございません。ご注意ください。なお、事務局が住所等をお聞きする場合は、同窓会事務局から電話の後、学校へ改めておかけいただき、とさせていただきます。ご了承願ひ申し上げます。

《第六回》 真心を貫けば、天即ち神様も 感動して助けてくれるのです!

「至誠」「質実剛健」「自治進取」

大正十一年(一九二二年)、仙台育英中学校開校という、学校設立の夢を実現した加藤利吉先生。育英塾を仙台の地に開いてから学校設立までの苦勞は、これまでに述べてきたように並大抵のものではありませんでした。幾多の困難を克服してきた道のりの中で、加藤利吉先生は三つの言葉からなる建学の精神を掲げました。「至誠」「質実剛健」「自治進取」。現在も仙台育英学園の中に一貫して流れる「学園と私たちの魂のよりどころ」です。

大正十一年、第一回入学式五十三名でスタートした仙台育英中学校は、昭和二年(一九二七年)に教室四棟を増築、それにとまなびて昭和三年には生徒定員を五百人に増加するにまで至りました。そして昭和五年(一九三〇年)には校歌が誕生します。作詞は加藤利吉先生、作曲は服部正氏。

南冥遙か天翔る 鴻鵠棲みし青葉城

誕生から七十余年。二十世紀から二十一世紀へと時代の大きな節目を経た今も、変わる中でその説明をします。例えば、「至誠」とは、文字通り誠を尽くすことである。すなわち真心をこめて人に接し、事に当たること。『至誠天に通ず』という言葉に、真心を貫け

ば、必ず天即ち神様も感動して助けてくれるという事です

ここに根ざしし育英の我が学舎に栄光あれ

大波にのみ込まれていくことになるのです。加藤利吉は育英塾開塾以来私学による生徒の教育に心を傾けてきました。その成果は顕著で利吉の理想は次々に実現してきました。学校の敷地取得、校舎の建設、設備の充実には、まさに東奔西走そのものであり、心身の過勞を意に介せず使命の達成に全力を傾けてきたのです。そして「ここに仙台の地に育英あり」の世評を得るような一大教育の殿堂が出現したのです。利吉はこれを機に校長職を退き、理事長職に専念することにしました。

昭和十四年、生徒定員は七五〇名に

仙台育英の校歌が高らかに歌われ始めた一方で、日本は「戦争」

近代的校舎(外記丁)



先生はそれまで続けた校長の職から退き、理事長に専念することにしました。昭和十六年。この年は、太平洋戦争が始まった年でもあります。日本のみならず世界中を不幸と混乱に陥れた大戦。加藤利吉先生が築き上げてきた仙台育英もまた、この戦争の

同窓会総会の案内 期日・平成十九年八月二十五日(土) 時間・午後五時より総会 午後六時より懇親会 場所・パレスへいあん 会費・五千円

当日は、自転車・甲子園出場記念グッズ等が当たる空ろじなしの抽選会がありますので、ぜひお誘い合わせの上、参加下さいませようご案内申し上げます。

会報発行費協力金

(H18. 4. 1~H19. 3. 31)

協力者数 701名
協力金額 701,000円

- List of names and amounts for the 2018-2019 association fee contribution, including names like 大橋 隆一, 田中 健一, etc.

第88回全国高校野球大会 甲子園出場協力金

(H18. 8. 12~H18. 9. 15)
協力者数 390名
協力金額 2,600,000円

- List of names and amounts for the 88th All-Japan High School Baseball Championship contribution, including names like 田中 健一, 山田 隆一, etc.

第79回選抜高校野球大会 甲子園出場協力金

(H18. 9. 29~H19. 5. 1)
協力者数 268名
協力金額 1,679,800円

- List of names and amounts for the 79th Selected High School Baseball Championship contribution, including names like 山田 隆一, 田中 健一, etc.

ご協力
ありがとうございます
ご協力ありがとうございました

百年記念事業協力金
460 赤